

■勝島王冠（SⅡ）アラカルト（過去全 16 回の分析）

※記録は令和 7 年 11 月 19 日時点

■ 1 番人気馬の 3 着内率は 8 割超

単勝 1 番人気馬は 6 勝、2 着 4 回、3 着 3 回で、3 着内率が 81.3%、単勝 2 番人気馬は 3 勝、2 着 4 回、3 着 0 回で、3 着内率が 43.8%、単勝 3 番人気馬は 2 勝、2 着 3 回、3 着 1 回で、3 着内率が 37.5%となっている。単勝 1 番人気馬の好走率がかなり高いレースだ。

■ 上位人気馬が 1～2 着を占めた例も多数

過去 16 回のうち 11 回は、単勝 3 番人気以内の馬が勝利を収めている。なお、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツーフイニッシュ決着は 8 回、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツースリーフィニッシュ決着は 2 回ある。

■ 優勝馬はすべて 6 歳以下

馬齢別の勝利数を見ると、3 歳が 2 勝、4 歳が 6 勝、5 歳が 3 勝、6 歳が 5 勝となっている。7 歳以上馬の優勝例はまだない。

■ 牝馬、外国産馬とも出走例が少ない

牝馬の出走例は第 2 回（平成 22 年）のラインジュエル（12 着）、第 15 回（令和 5 年）のコスモポラリタ（10 着）のみとなっている。また、外国産馬の出走例も第 9 回（平成 29 年）のシャドウパーティー（16 着）、第 15 回（令和 5 年）のデュープロセス（9 着）、第 16 回（令和 6 年）のコラルノクターン（8 着）のみである。

■ 騎手別の歴代最多勝記録は「2」

騎手別の勝利数を見ると、2 勝の繁田健一騎手、御神本訓史騎手、森泰斗騎手がトップタイとなっている。

■調教師別の歴代最多勝記録は「3」

調教師別の勝利数を見ると、3勝の森下淳平調教師が単独トップ。福永敏調教師が2勝で単独2位となっている。

■未勝利の馬番は多くない

枠番別勝利数を見ると、4枠（4勝）が単独トップ。2枠、3枠、5枠、7枠、8枠（各2勝）が2位タイとなっている。なお、未勝利の枠番はない。また、馬番別勝利数を見ると、7番（3勝）が単独トップ。5番と8番（各2勝）が2位タイとなっている。ちなみに、未勝利の馬番は1番、6番、9番、14番である。

＜伊吹雅也＞